# 町内会 ひろば

**防災防犯委員会からのお知らせ特集**


1頁　震災時の町内会避難マニュアル。町内会の新地図
2頁　深夜大地震が我が町を襲う。　帰宅の心得10箇条
3頁　乳幼児・妊婦・高齢者らの災害への備え。災害備品。
4頁　数字で見る町内会活動。　楽しかった行事スナップ


## 大震災発生時の町内会避難マニュアル

【下記の新・組割り地図 参照】

**大震災発生**

↓

**各自宅等における安全確保**　● 余震が収まるまで、自宅等で各自の安全確保を第一とする

↓

**両隣等の近隣の被災状況確認**　● ガス漏れ・煙・倒壊などの状況を確認する

↓

**一次避難所に集合**　● 自分の非常時持ち出し品をもって近隣の一次避難場所に集合する

↓

**安否確認・要救助情報収集**

●各組長（又は代行者）は組員の安否確認、要救助情報及び倒壊情報等被災情報の収集、並びに11組国末宅付近に設置する避難本部（町内会長・防災担当者等）へ通報する

↓

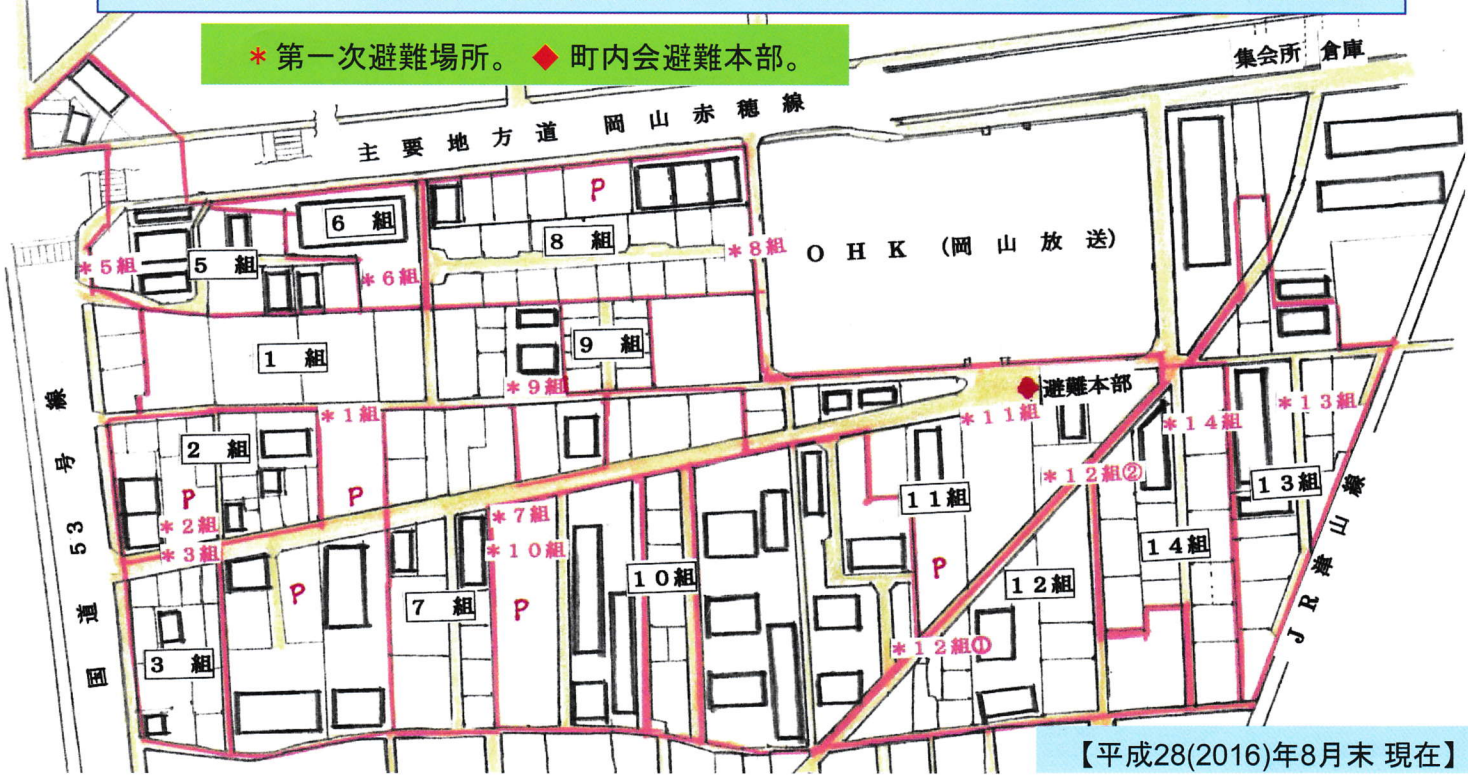
**状況により集会所及び二次避難場所に移動**

● 町内会長（防災担当者）は、町内の被災状況等を 市防災担当部署及び連合町内会長等に通報する。状況に応じて救助 を要請する。

● 町内会長（防災担当者）は、近隣全体及び町内の被災状況に鑑み、安全確保のため町内会集会所や 二次避難場所（ＯＨＫ構内駐車場）等への移動を指示し、今後の対策について市防災担当部署及び連合町内会長等と調整を図る。

## 学南町中央町内会　組割り地図　（太枠：マンション等の集合住宅。P：駐車場）

＊第一次避難場所。　◆町内会避難本部。




【平成28(2016)年8月末 現在】

# 町内会 ひろば

防災防犯委員会からのお知らせ

**＜家族や知人の安否連絡＞**
**災害用伝言ダイヤルが設定された場合**
録音時　1711＋（市外局番から自宅の電話番号）
再生時　1712＋（市外局番から自宅の電話番号）

## 東日本、熊本、鳥取 そして・・・ 深夜大震災が我が町を襲う！【ひとつのシナリオ】

西暦20〇〇年〇月〇日深夜、小雨、地震緊急警報のブザーに続き、大地が底から持ち上がり、身体ごとたたきつけられた。震度7強の激震が岡山県南部を襲ったと携帯ラジオが告げている。家族の名前を叫びながら、手探りで懐中電灯を探す。余震も小さくなったので、家から飛び出し、真っ暗な道路べりに立ちすくむ。周辺の大きなマンションや近くの陸橋は倒壊をまぬがれたものの、いくつかの住宅や古家が全壊や半壊している様子が闇のなかにうかがわれる。OHKの非常発電機が作動しているのかうなり音が聞こえ、ぼんやりと周りの景色が雨粒に透けて見える。電気・都市ガス・水道等のライフラインが、かなりの被害を受けていることは感じられるが、幸いに火災は発生していない。

余震が少し収まったころ、非常持ち出しリュックを背負った初老の夫婦が散見されるが、皆な放心状態だ。半壊の家から這い出た泥だらけの住民が地べたに座り込んでいる。誰からともなく“避難場所へ行こう”と声が上がり、お隣同士声をかけながら、あらかじめ決められていた一次避難場所に集まりだした。それぞれの避難場所では組長や元気な男性が声を張り上げながら、やって来た人を確認している。
余震はまだ続いているが、発災後15分ほどたっても一次避難場所に来ない人がいて、組の代表者や大学生がその家に駆けだしていくシーンも見られた。

町内会長や防災関係者は國末氏宅前に避難本部を設けて、町内の状況を集約し始めた。集会所が無事だったので、自家発電機も作動を開始、パッと明るくなったガード下は少し活気がみなぎってきた。集会所は、これからの救護活動のための準備が始まった。防災倉庫からヘルメット、シャベル、バール等の救助備品を運んでくれている学生の姿には頼りがいのある心強さを感じた。

しだいに、各一次避難場所からは負傷者や子供、高齢者などが若者に付き添われながら集会所へと集まりだした。 集会所に入り切れない被災者が出てきたので、町内会長はOHKの玄関前の広い芝生広場に第二次避難所を設定することを決断し、防災関係者や元気な町民、学生の方々にお願いして、救護所の準備を始めてもらうことにした。元気な住民たちによって、備蓄されていた毛布やブルーシートを使った応急の避難所がつくられた。他の備蓄してあった防災グッズ等もそこへ運ばれた。そこでは同じ町内に住む医師や看護師による負傷者の簡単な応急手当が始まった。リヤカーなどで運ばれてきた負傷者や高齢者が第二次避難所に集まりだした。

中年の女性から、子どもや女性のためのトイレの対策をしてほしいとの要望が出された。会長と防災関係者はあらかじめ決めていた手順で、数台の簡易トイレを設置し、周囲を目隠し用のシートを張ることとした。その他に使用可能な住宅等のトイレを借用できるように交渉した。その結果、許可の出た住宅の場所を避難本部に掲示した。飲料用の水は、負傷者と幼児用とし、集会所と第二次避難場所に準備した。

町内会長は、各組長等から集まる安否情報を集計し、消防署をはじめ、連合町内会や岡山市等担当部署に救助要請を行っていた。雨が上がり、朝陽が少しずつ周りを照らし始めた。遠くから救急車のサイレンが近づいてきた。今朝ばかりは、頼もしい救世主にほほが緩む・・・・
朝陽が顔を出した!当面のピンチは切り抜けた!　命だけは助かった!　避難所に集まった住民は安どの顔で太陽の光を浴びていた!　みんなで力を合わせて、サーこれからだ!!

### ～ 帰宅の心得10箇条 ～

①あわてずさわがず状況確認　②携帯ラジオをポケットに　③帰宅地図を作っておく　④ロッカーにスニーカーを　⑤机の中にはチョコレートや キャラメルを　⑥事前に家族で連絡手段や集合場所を決める　⑦安否確認手段には災害用伝言サービスや遠くの親類も　⑧歩いて帰る訓練を　⑨季節に応じてかっぱやカイロなどを用意　⑩声をかけ合い、助け合う

参照：東京都の対策検討委員会の提言　http://www.bousai.metro.tokyo.jp/

# 町内会 ひろば

## 防災防犯委員会からのお知らせ

◆ **非常時の持ち出し物**の備えについては「岡山市くらしの便利帳」(14頁)に掲載されています。◆**個人や家族の非常時持ち出し品**の**チェックリストは** 本紙前号(創刊号) 3頁に掲載しましたので、参考にしてください。

## 乳幼児・妊婦・高齢者・・災害への備えは！！

「乳幼児と保護者、妊産婦のための防災ハンドブック」 2014年3月作成。非常用備蓄品は、乾パンやアルファ化米でなくても、食べ慣れているレトルト食品や缶詰で事足りる。飴やチョコレートなど甘いお菓子はエネルギー補給や心を落ち着かせることもある。食物アレルギーのある子供がいればアレルギー疾患用粉ミルクを日ごろから1缶以上買い置きする。避難時の持ち出し品として、食品は一人1日分、飲料水は一人1リットル程度。防災用品や衣類などと合わせて非常用リュックサックに入れておく。女性一人で運べる重さの目安は10キログラム。妊婦は5キログラム。その他に、乳幼児のみならず子供、夫婦、高齢者など家族ひとり一人の状況にあわせて、必要な品をリストアップしてあり、家族で話し合うのに役立つ防災ハンドブックと思います。 【朝日新聞記事 2016/05/13 を参考にしました】
(http://www.boshiaiikukai.jp/img/research/bousaihandbook.pdf)

## 新しく装備した 町内会災害備品リスト

備蓄品：最低限72時間(3日間)対策

1.ヘルメット(5個)　2.バール(2本)　3.シャベル(2本)　4.軍手(48組)　5.ブルーシート(6枚)　6.グランドシート(3枚)　7.毛布(10枚；寄贈もお願いします)　8.懐中電灯(4個)　9.小型発電機( 燃料タイプ1台)　10.リヤカー(1台)　11.カセットコンロ(1台)　12.ハンドマイク(2台)　13.ロープ(2本)　14.飲料水( 2Lx6本)　15.防災キット1組：【内容品：FMラジオ、ブランケット、給水バッグ( 3L)、カイロ2個、アルミポンチョ、救急セット、軍手、緊急簡易トイレ、歯ブラシ、圧縮タオル、緊急ホイッスル、5年保存水500mL1本、乾パン、オールラウンドマルチツール(針、糸、はさみ等)、リュック】

## 町内会のくらしの情報（シリーズ 2）

災害時に、負傷して動けないこともあります。近隣の人たちの協力を遠慮なく頼みましょう。
でも混雑しているような場合、見ず知らずの人の救援も必要になります。そういうときのために、
個人情報カードを用意しましょう。緊急避難の時には、ひとり一人が持ち歩きましょう。町内会では住民全員にいきわたるようなカードを作りたいと思っています。総会で検討します。
提供する情報は、表面は自分の名前・生年月日・住所・血液型・持病・かかり付けの病院等です。
裏面は、緊急に連絡してほしい人たちの電話番号などです。
見本を町内会ひろば配布時にお示しします。

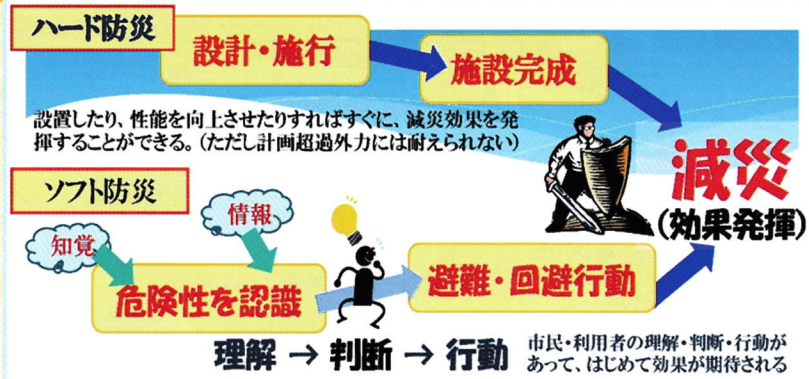
## 防災・減災を目指して

**「自分は大丈夫！」と思わないこと**
**・～・ 正常化という偏見 ・～・**

災害が迫っていても、人は“まさか自分が巻き込まれるとは考えない”
そして「**根拠もなく自分は安全だ**」
と考えてしまうそうです。

**想像力・予想能力の豊かさと大きさが災害被害を減らします。**
http:/ /www.honnoki.co.jp

## ハード防災とソフト防災の組合わせによる防災・減災




**「自分は大丈夫！」とは思わない**

人は、「自分が災害に巻き込まれる」とは なかなか考えられないものです。
巻き込まれてから「まさか、起きるとは思わなかった」では遅い！

**自然に対して謙虚な姿勢で、いつでも心構えを**

岡山地方気象台 松本幸博氏 おかやま環境ネット出前講座資料を参考

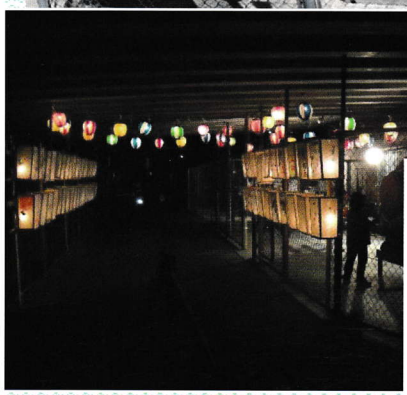
# 町内会 ひろば

## ラジオ体操

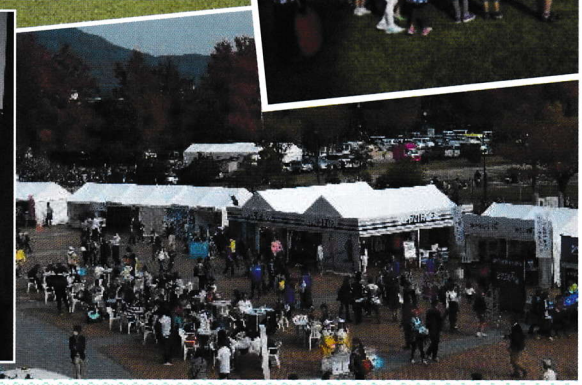
## 数字で見る町内会の活動（4月～11月）

☆ 会員数　112会員から 144会員へと増加
☆ 花見の会(4月6日)　25名
☆ ラジオ体操（7月20日～31日）参加者　732人
☆ 情報紙「町内会ひろば」創刊 8月　300部発行
☆ 精霊おくり（8月15日）　26家族
☆ クリーン作戦町内一斉清掃（9月25日）163人
☆ 秋祭り（10月15日）
　こどもみこし　35人　スーパーボール　60人
　あんどん掲額者（小学生以下）　58人

## 秋祭り



## 岡山マラソン



## 町内会のくらしの情報（シリーズ 3）

＜国土交通省からの情報＞

国道53号線【学南町交差点】の一部改善

①シティライトスタジアム東北角の交差点の横断位置が少し変わります。 ②安西自転車店から東の横断路までの自転車路と歩道が広くなります。

＜岡山市への要望と要求＞

①OHK東角の6叉路交差点の改善について要望しています。 ②町内会1組の用水路の安全対策について要望しています。

## 編集後記

・町内会の皆様に役立つ情報とはなんだろうかと議論しながら、8月の創刊号に続き第2号の発行に無事こぎつけました。関心の高い防災問題特集です。次号は少しソフトに“町内や近隣のおすすめ観光スポット“の紹介などはいかがでしょうか。

・この町内会情報紙「ひろば」についてのご意見、ご感想などお聞かせください。回覧板に“ご意見伺い“用紙を添付する予定です。組長さんに届けてくだされば感謝します。

・編集メンバー紹介：安西、磯貝、池上、岡田、神原、國末、福森、宮田、山川、赤坂(敬称略)。文責：阪田